

地域医療発展へ産学連携



協定書に署名する代表者ら＝鈴鹿市南玉垣町の鈴鹿医療科学大学白子キャンパスで

鈴鹿医療大とMMM、三十三地域創生

包括協定を締結

【鈴鹿】鈴鹿医療科学大学（高木純一理事長）と松阪メディカルメンバーズ（リーダー・橋本耕成、橋本電子工業社長）、三十三地域創生（熱田渉社長）の三者は十七日、産学連携に関する包括協定を締結した。

地域医療の課題解決や人材育成、医療機器産業振興を目的に、今後はそれぞれの強みを生かして、医療現場のニーズを反映した製品開発や販路開拓、大学との共同研究や教育連携、金融機関による地域創生支援などに取り組む。

松阪メディカルメンバーズは松阪市内の異業種による医療機器関連企業六社の共創チーム。

マッチングをきっかけに、三者がつながった。同日、鈴鹿市南玉垣町の鈴鹿医療科学大学白子キャンパスで調印式があり、橋本リーダーは「地域に根ざした新しい産学連携のかたちを模索していく」、高木理事長は「研究の活性化だけでなく、地元企業への就職促進につながれば」、熱田社長は

「今後生まれるであろう新商品を銀行ネットワークを通じて販路拡大につなげたい」とそれぞれあいさつし、協定書に署名した。
（蔵城洋子）